

第5次総合計画 中期戦略事業プラン 事務事業評価シート

事業名	事務事業の見直し			事業番号	40-103
事務事業担当	部名	部長名	課名	課等の長	
	企画部行政経営担当	酒井 哲也	経営企画課	成田 勝也	

計 画 (Plan)					
総合計画体系	自治力	まちづくり目標	5	みんなで考え行動するまち	
		基本政策	10	市民と行政がともに力を合わせて歩むまちづくり	
		施策展開の方向	18	次代へつながる確かな行財政運営ができるまちをつくる	
		施策	40	市民に信頼される市政の推進	
予算事業名					
事務区分〔選択〕	<input checked="" type="radio"/> 自治事務	<input type="radio"/> 法定受託事務	(選択してください)→	法令上の位置づけ	実施する規定はない
事業開始年度	開始年度	平成17年度	～	終了年度	—
関連法令等					
国・県の計画等				計画期間	
関連個別計画	第5次行財政改革推進計画			計画期間	平成30年度～令和4年度
実施の背景 (事業を取りまく環境・市民ニーズ)	社会情勢の変化により行政への潜在的な需要が多様化しています。厳しい財政状況の中、持続的な行政サービスの提供を図るためには、行政運営の改善が必要とされてきています。				
目的 (何をどうしたいのか)	事務事業の有効性、効率性、必要性、実施主体などを点検し、質と量の両面から行政サービスの見直しを進めます。				
主な対象 (誰・何を対象に)	行政事務事業全般				
事業内容 (手段、手法など)	<ul style="list-style-type: none"> 外部委員会である伊勢原市行財政改革推進委員会による行財政改革推進計画の進捗状況確認、行政内部からの事業の点検により、効果的で効率的な行政執行体制を実現します。 多様な行政事務のうち、定型化や集約化が可能な業務のアウトフレームをとらえ、さらにその業務量を精査することで、効率化を推進します。 				
事業行程	項目	年度			
		平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	事務事業の見直し	実施	継続実施・新規見直し	継続実施・新規見直し	
	行財政改革推進委員会の運営	運営	運営	運営	
	業務標準化	既存マニュアル精査 新規作成	運用・検証	運用・検証	
業務の洗い出し	事例研究	検討・調整	試行		
目 標	【指標名】	【現状値】	年度		
			平成30年度	令和元年度	令和2年度
	事務事業見直し件数	—	10件	15件	15件



事業実施 (Do)

事業実施 (D○)

事業の「取組方針」 (前年度事務事業評価)	第5次行財政改革推進計画が示す取組方針に基づき、事務事業の見直しの質的・量的な上積みを図るとともに、計画の中間見直しに着手し、取組内容の整理を行います。			
実施方法 〔選択・記入〕	●すべて直接実施 ○左記以外			
	<input type="checkbox"/> 業務委託	<input type="checkbox"/> 指定管理	委託先又は指定管理者	
	<input type="checkbox"/> 補助金		補助先	
	<input type="checkbox"/> その他		具体的内容	
実施結果	項目	年度		
		平成30年度	令和元年度	令和2年度
	事務事業の見直し	実施	実施	実施
	行財政改革推進委員会の運営	運営	運営	運営
	業務標準化	既存マニュアル精査	既存マニュアル精査	既存マニュアル精査
業務の洗い出し	事例研究	事例研究	事例研究	
実施した取組の内容	令和3年度予算編成時に、予算を伴わない事業も含めた事務事業の見直しを実施しました。また、RPA導入による業務改善により、業務時間の削減を図りました。			
目標の達成状況	【指標名】	年度		
	【現状値】	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	事務事業見直し件数	-	40件	34件
		100件		

コスト	年度		平成30年度 実績				令和元年度 実績				令和2年度 実績			
	事業費合計 (a)			0	千円		0	千円		0	千円		0	千円
内訳	国県支出金 ①		0	千円		0	千円		0	千円		0	千円	
	地方債 ②		0	千円		0	千円		0	千円		0	千円	
	その他特財 ③		0	千円		0	千円		0	千円		0	千円	
	一般財源 (a)-①-②-③		0	千円		0	千円		0	千円		0	千円	
国県支出金の内容														
その他特財の内容	受益者負担		○有 ●無				前回の改定時期							
	その他													
人件費	正規職員		0.19	人	1,617	千円	0.2	人	1,740	千円	0.21	人	1,806	千円
	その他の職員		0	人	0	千円	0	人	0	千円	0	人	0	千円
	人件費合計 (b)		0.19	人	1,617	千円	0.2	人	1,740	千円	0.21	人	1,806	千円
トータルコスト (a)+(b)				1,617	千円			1,740	千円			1,806	千円	
単位当たりコスト	対象数	定義	市民	単位		市民	単位		市民	単位		市民	単位	
		対象数	102,416	人		102,248	人		102,046	人		102,046	人	
	総事業費 / 対象数		16	円		17	円		18	円		18	円	

評 価 (Check)				
進捗状況 [選択・記入]	<input checked="" type="radio"/> 計画どおり (A) <input type="radio"/> 概ね計画どおり (B) <input type="radio"/> 計画どおり進捗せず (C)	A	左記判断理由	外部委員で構成する行財政改革推進委員会を開催し、第5次行財政改革推進計画の進捗状況の点検等を行いました。また、新型コロナウイルス感染症の影響により厳しい財政状況が続くことが見込まれることから、全庁的な事務事業見直しの強化を図り、目標である15件を大きく上回る100件の事務事業の見直しが図られたことにより取組効果額も当初の想定を上回りました。
実施水準 [選択・記入]	<input type="radio"/> 他市より高い水準で実施 (A) <input type="radio"/> 他市と同水準で実施 (B) <input type="radio"/> 他市より低い水準で実施 (C) <input checked="" type="radio"/> 一律に比較できない事業	—	他都市の事業内容等	近隣市においても事務事業の効率性などを検証し、行政サービスの必要性や実施主体、実施手法などの見直しに取り組んでいますが、具体的な取組方法は、各市で異なっています。
有効性 [選択・記入]	<input checked="" type="radio"/> 高い (A) <input type="radio"/> 普通 (B) <input type="radio"/> 低い (C)	A	左記判断理由	第5次行財政改革推進計画に掲げた取組について、適切な進捗管理が図られるとともに、令和2年度は、計画前期の効果の総括的な検証と、その結果を反映した計画の中間見直しを行いました。
効率性 [選択・記入]	<input checked="" type="radio"/> 効率的に実施されている (A) <input type="radio"/> 改善の余地がある (B) <input type="radio"/> 抜本的な改善が必要である (C)	A	左記判断理由	予算編成作業と合わせて、事務事業の見直しに当たっての考え方や着眼点を示しながら各課に依頼をしたことから、効率的な見直しに繋がりました。また、行政経営の視点から必要な行財政改革の取組について再考し、計画に掲げる取組内容の精査及び取組本数の整理など、より実効的な計画とするため必要な中間見直しを行いました。


 取組内容の改善 (Action) へ

取組内容の改善 (Action)	
事業推進上の課題	事務事業の見直しにより、一定の効果はあげられていますが、引き続き真に必要な取組を見極め、行政経営の視点をより取り込みながら事業の見直しを進める必要があります。
令和3年度の取組方針	令和2年度に見直しを行った第5次行財政改革推進計画の着実な推進を図るとともに、計画の取組方針に基づき、事務事業の見直しの質的・量的な上積みを図っていきます。
所管部長による総評	中間見直し後の第5次行財政改革推進計画について確実な成果を挙げるため、適切な進捗管理を通じて計画に盛り込まれている取組項目を着実に実行します。また、厳しい財政状況が見込まれる中でも、質の高い行政サービスを効率的・効果的に提供していくために、本市の行財政改革の取組を客観的に総括しつつ、将来的な行財政改革のあり方についての検討を進めます。